

暑い夏に小学生が

活躍したラジオ体操

鈴ヶ森町会

本年も大井水神町会と鈴ヶ森町会の共催で、7月21日から31日まで鈴ヶ森小学校をお借りしてラジオ体操を行いました。今回の特徴は、猛暑。初日の朝6時、日陰のベンチで30℃もありました。経口補水液OS-1を用意しておきましたが、飲む人がいなかったのは幸いでした。24日には大井消防署「まちかど防災訓練車」が来校され、約20名の児童が消火器とスタンドパイプ放水訓練を行いました。

台風12号の影響で、28日は雨のため校庭ではなくコンクリート通路で18名が体操を実施、29日は約50名が若干の水たまりを避けて体操しました。



放水訓練



大勢の参加者

体操の演技については、6年生女子1名が7日間も朝礼台で模範演技し、6年生男子9名が3日間、台の横に並んで演技したことにより、多くの小学生が友達同士や家族で一生懸命に体操して、一体感を共有したラジオ体操になりました。

模範演技した女子は、「来年は中学生になるけど来てもいいですか」と目を輝かせて話してくれて、「勿論、待っていますよ。」と答えました。校長先生と先生方に協力していただき、御礼申し上げます。

お祭りに向け、がんばりました

南大井第四町会

9月14日から16日まで、天祖諏訪神社の例大祭がおこなわれました。それに向けて今年も大拍子（お神輿の太鼓と笛）の稽古に励みました。

特に、子ども神輿の太鼓は子どもたちに叩いてもらいたいので、今回も広く参加者を募り、6月から小学生たちとの稽古を始めました。中には太鼓が初めてという子どもたちもいます。指導する大人たちに対して、最初は人見知りをしたり、戸惑ったり、



太鼓の稽古

表情もこわばったり。けれども回数を重ねるうちに、笑顔がどんどん増えて、とても温かい雰囲気



笛に合わせて

の中で稽古を続けることができました。子どもたちの成長は、目を見張るばかりです。本当に真剣に取り組んでくれます。これは、大人たちにとっても基本を見直すよい機会となり、稽古に一層の力が入りました。

思い出せば、私たちも子どものころから、大人の方々に太鼓を教えていただきました。地元のお祭りの伝統を守り伝えていくためにも、今回がんばった子どもたちが、きっと次の世代の担い手となってくれるでしょう。